



広 報

'91/ No.393

あいかわ 6月号

■編集

秋田県北秋田郡合川町 総務課

☎0186(78)2100

F A X 0186(78)3277



紙飛行機チャンピオン

弥 栄 向 井 顕 悟 くん

顕悟くんは、五月三日の大野台ハイランドまつり紙ひこうき大会小学生の部で優勝しました。「お父さんが五機作ってくれて、そのうち一番飛ぶやつを持たせてくれました。十五度の角度で強く放せと教えられて、そのとおりやったらうまく飛びました」顕悟くんの記録は三秒五〇。一般の優勝は桜庭正文さん・芹沢（六秒七二）でした。

（龍洋さんの長男です）



季節のアップ



レンゲツツジ

今月の紙面

- 2面 町の基本構想
- 3面 児童館だより
- ” 町議会臨時会
- 4～5面 春の交通安全運動
- 6～7面 大野台ハイランドまつり
- 8～9面 町のできごと
- 10面 通所訓練（ディケア）
- 11～14面 お知らせ
- 12面 一人目の子供から児童手当

これが合川町開発基本構想の四つの柱です

町議会三月定例会で、町で策定した「合川町開発基本構想」が承認されました。
この計画は二十一世紀初頭の町の姿を展望し、町と町民が一体となって町づくりをすすめる指針として策定されたものです。構想はふるさと創成事業推進委員（四十人）を引き続いて基本構想推進委員として委嘱してまとめられ、施策の四つの大綱を定めています。大綱のあらましを紹介します。

①活力ある産業の振興

農林業を基軸に、商工業や新しい観光産業の立地など、視野の広い産業構造の形成をめざす。これら各分野のつながりと相乗効果によって、豊かな産業の発展をはかる。

- (1) 農業の振興
- (2) 林業の振興
- (3) 商工業の振興
- (4) 観光

農地の流動化による規模拡大企業の経営による担い手の育成や、就労環境の整備などを提言しています。

②うるおいある生活環境づくり

高度情報化時代、高齢化時代に、うるおいと豊かさを実感できる環境づくり。単に利便さを求めるだけでなく、自然と人間の調和をめざす。

- (1) 交通通信体系の整備
- (2) 生活基盤の整備
- (3) 安全確保
- (4) 環境美化

道路網の整備、自宅の建設、上水道、排水施設の布設などを計画し、あわせて安全と水と緑の自然環境の保全活用を呼びかけています。

③健康で明るい福祉の町づくり

立町以来の町是とも言える社会福祉の町づくりの最大の課題を高齡化社会への対応と位置付け、老若男女が一体となった連帯感を求める。

- (1) 社会福祉
- (2) 青少年の健全育成

諸施設の充実の中で、三世代交流により長寿社会の活性化を提言。在宅福祉では隣組の再編、青少年の健全育成のための連帯意識の高揚など、心のつながりを構想の基調にしています。

④心豊かな人づくり

人材の養成を地域づくりの最も必要なものと位置付け。学社一体の生涯学習の推進によって豊かな心を持った人間形成への取り組みを強める。

- (1) 学校教育
- (2) 社会教育
- (3) 国際交流

山村留学、学童研修センターの活用、福祉教育の実践を提唱。環境と緑化に配慮して中学校を改築。生涯教育の充実と海外交流の活発な展開を呼びかけています。

計画達成のために

この構想は、今後の具体的な計画の基本となる考え方をまとめたものです。最終章ではこの実現のために▽町民参加の町づくり▽計画的行政運営▽広域行政の推進を掲げています。

町民の積極的な連帯によって、この構想を具体化し、実現させましょう。

個性豊かで活力に満ちた町づくりめざして

じどうかんづうしん

「こどもをいつし
よに、よんでく
ださい」

各地域の集会施設を訪ねます

～なかよくしてください～

今年度から児童館のしくみが変わりました。

役場わきの公民館に『児童館センター』の一室が設けられました。(☎七八―二四六八) 五名の児童館厚生員(補充

員一名)が、このセンターを中心に活動し、各地域の児童館や集会施設にも出向きます。

地域の皆さんと協力し合っていっしょに活動したいと張り切っていますので、どうぞよ

ろしくお願いします。
子どもたちの活動の様子を広報で「つうしん」としてお知らせします。まずは、厚生員の皆さんを紹介します。

キーホルダーが
できちゃった

地域児童館で工作教室

厚生員の皆さんは、三月中旬に各地区で映画会の開催。五月から本格的に活動を始めました。

五月十八日はセンター児童

館と鎌沢でプラバン工作を指導。集まった子どもたちといっしょに、ブローチやキーホルダーを作りました。

今後、児童館では自然観察などの野外活動も計画。地域の訪問日は、広報のこよみにも掲載しています。ゲーム、工作などいろいろ考えていますので、どうぞ遊びにきてください。



松岡ゆう子さん



高橋恵子さん



原田ひとみさん

補充員
松橋祥子さん

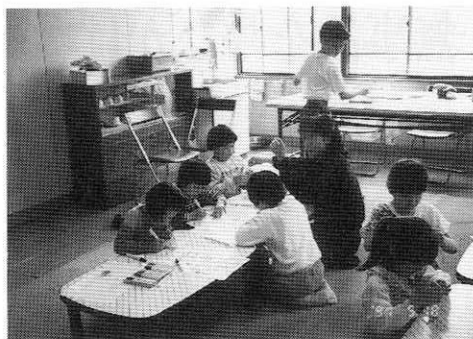
藤島陽子さん



小林幸子さん



できたよ。私たちの「宝物」
右＝センター児童館。左＝鎌沢



5月8日臨時議会

和田収入役
再任に同意

町議会第一回臨時会は五月八日に開かれました。

任期満了にともなう収入役の選任については、和田三九郎氏(四十七歳)を再任することに同意。和田収入役は昭和五十四年から現職です。

この他、臨時議会では町税条例を一部改正する専決処分が承認されました。

町税条例の改正では、町民税の税率が次のように改正され、今年度分から適用されます。

課税所得	税率
160万円以下の金額	100分の3
160万円を超える金額	100分の8
550万円を超える金額	100分の11
(改正前)	
120万円以下の金額	100分の3
120万円を超える金額	100分の8
500万円を超える金額	100分の11

くり返さないで 交通事故の悲しみを

— 特集 — 春の交通安全運動をひろう

春の全国交通安全運動は、五月十一日から十日間にわたって行われました。交通安全運動前日の五月十日、町内で交通死亡事故が発生。こうしたこともあって、交通安全の呼びかけは、例年以上に緊張感の中で行われました。交通安全に、もう一度注意を喚起する意味で、運動期間中の行事から拾ってお伝えします。

54人の安全推進員を委嘱

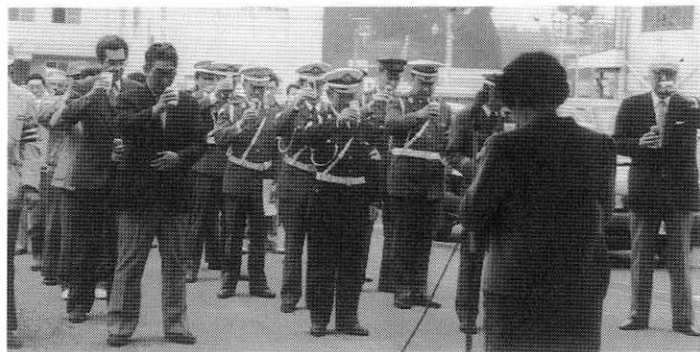
役場前で安全の集い

初日の十一日早朝六時から役場前で交通安全の集いが開かれました。

たにし合いました。

広報無線で合図して、全町民といっしょに黙禱。交通安全祈願の神事を行いました。集いでは、始めに五十四人の交通安全推進員を委嘱しました。交通安全推進員は、地域活動の中で、安全運動のリーダーとして活動・助言などをお願いするもので各部落に一人二人を委嘱しています。

町長、森吉警察署次長、阿仁部交通安全協会合川支部長が「二度と悲しい事故が起きないように、決意を新たにしてい交通安全運動を」と呼びかけ。冷たいジュースで乾杯し、事故ゼロへの誓いを新



無事故を呼びかけ 職場訪問

～阿仁部交通安全協会合川支部で～

阿仁部交通安全協会合川支部では、十三日、町内の勤労職場を尋ねて交通安全の呼びかけを行いました。交通指導隊の協力も得て、各職場の通勤時にあわせて街頭指導。シートベルトの着用指導を重点に、安全運転を指導しました。

この職場訪問は、事故を起すしやすき若者への啓発を図ったもので、職場の朝礼の時間を借りて直接、職員の皆さんに交通安全を訴えることができました。安全協会合川支部では、同じ十三日、夜には飲食店を訪問し、飲酒運転防止のための呼びかけを行っています。



本戸石地内で 死亡事故発生

五月十日、本戸石地内の十字路で、自動車とバイクの衝突事故が発生しました。この事故で、バイクのかたが亡くなりました。

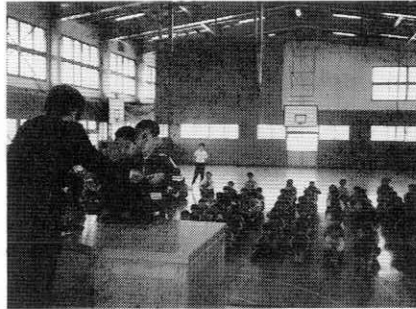
今年は全県的に交通死亡事故が増えています。家庭、地域、職場で、機会あるごとに交通安全を徹底し合います。

忘れず守って この標語

北小学校で安全標語コンクール

合川北小学校では、春の交通安全運動にあわせて、交通安全標語を募集しました。この標語募集は、交通安全協会北部会（伊勢盛市会長）が学校前に設置している安全看板の建て替え時に行っているもので今回は第五回。全校生徒の中から選ばれた作品は、看板で地域の啓発に活用されています。

表彰式では高橋助役、交通安全協会の代表らが出席して「子どもたちの標語を私たち大人がしっかり守ると、事故は無くなる。家庭に持ち帰っ



入選作品

北小学校交通安全標語

しろいせん あなたをじこから まもるせん
一年 しみず こうた
新車にのつても ルール守らにゃ スクラップ
三年 杉 渕 茂 利
子どもが見てるぞ 酒飲み運転
六年 杉 渕 英 隆
スピードを出したい心に 安全運転
六年 横 谷 大 輔

目立つシートベルト着用忘れ

町交通指導隊などで街頭指導

町の交通指導隊員は十人。毎日のように街頭、路上で指導に尽力していただいています。

安全運動期間中の活動の一つとしてシートベルトの着用調査を行いました。

十四日から十六日までの調査では通過千二百五十台のうち

ち二百二十一台で運転者が未着用。約一八%ですが、助手席の未着用や、調査地点手前での着用車もありました。

指導隊では継続して、シートベルトの着用状況を調査することになっています。

また、交通安全運動最終日の二十日には、合川南小学校



「シートベルトをしっかりとめてください」と南小学校前で

交通安全推進隊の皆さんが、交通安全手作りしおりなどを配って街頭指導を行いました。

地域交通安全

活動推進員に

小田慶一さん

平成三年から道路交通法で地域交通安全推進委員の制度が設けられ、森吉警察署管内に五人の委員が委嘱されました。委員の方々は道路情勢や駐車場対策などを含め、安全運動の全般的なパイプ役として尽力されることになりました。

当町からは小田慶一さん（木戸石・六七八―二〇六四）が委嘱されています。よろしくお願いします。

1日・15日は

町の交通安全の日

毎戸で交通安全旗をかがけ交通安全の一声運動に協力ください。
交通安全旗は夜には忘れずにしましましょう。

遊んだよ

五月三日、大野台ハイランドまつりが開かれました。紙ひこうき大会、比内地鶏早つかみ競争などいっぱい展示や催しが行われ幅広い参加でにぎわいました。まつりのスナップから拾ってみました。

幼児から一般まで参加して手作り紙ひこうき大会。大館能代空港の実現の願いをこめて、飛べー



カメフラスティチ 大野台ハイランドまつり

右＝比内地鶏の早つかみ競争。(左＝比内地鶏の焼き鳥コーナー。こちらも町の特産品として、飛べ……



◀ステージ部門の幕明けは合川
太鼓の皆さん。
大自然の中に勇壮に響きわたる



▲ とろろめしの大食い競争。アキタコ
マチにとろろ —— 絶妙の味わいに、
まだまだ入りそう

でっかい 大で

▶ 芝生広場で福田獅子舞いがふるさとの伝統
芸能を披露。目の前の迫力ある演技に拍手



▲ 2人の北欧からのお客様と秋田内陸線の三
浦運転士をモデルに「リゾート大野台」の期
待をこめて撮影会。



「梅」の花と実りに大きな期待



苗木500本を植え付け

「北の梅」の生産グループ

合川町梅加工グループ（代表・庄司昌子さん＝増沢）では四月十二日、増沢地内に約五百本の梅の植樹を行いました。

梅加工グループでは、町の木・梅を特産品にしようと、昔ながらの手法を生かして合成着色料、添加物を使用しない梅漬け『北の梅』をつくっています。北の梅は町内外から好評で、年々、注文などが増えていることもあって、苗木の植栽が話し合われていました。

植え付けは、先進地から指導者を招いて実施。結実を考えて、品種の配置を行い、剪定や交配についての勉強会も開いています。

開花、収穫が楽しみです。

～球春～新装なってオープン

合川球場



簡易保険の還元融資で改装された合川球場

改装工事がすめられていた合川球場が竣工し、五月三日の全県選抜中学校野球大会からオープンしました。

新球場は両翼九十七・五メートル。中堅百二十二メートル。公認野球規則にあわせてワイドになりました。フェンス全面に安全ラバーが設置され、思いきったプレーが楽しめるようになりました。

大会は合川中学校が準優勝。緊迫したゲーム展開が、球場をわかせていました。

球場拡張整備工事は広域市町村事業で、事業費は四千九百万円余。簡易保険積立金の還元融資三千六十万円を利用してします。

玄関に山野草がお出迎え

～東小学校で～



合川東小学校の玄関には、何種類もの季節の山野草が飾られています。

この展示は昨年までは、自然観察部の活動として行っていたものを、担当していた桜井先生が引き続いて今年も行っています。山野に自生しているものや、庭の花として移植されているものから展示されているそうで、中には見かけることの少ない花もあるとのこと。

名前の由来や、花の言い伝えなどが表示され、この作業は児童の皆さんがお手伝い。興味のある子どもは熱心に見入っている時もあるとのこと。

山桜が見事です

—関の沢公園—

あじさい園を中心とした関の沢公園の管理にあたっている三浦市郎兵衛さんから、「山桜が、たいへんきれいです」と、案内をいただきました。

関の沢一帯は、山あいをうめるように山桜が自生しており、地域の人たちの目を楽しませていました。今年もわらび採りなど、散策をかねて毎日のように山桜を見る人々が訪れているとのこと。

関の沢公園は、山桜のあわい彩りに続いて、八重桜が濃いピンクの色彩で飾り、次々と季節の花を楽しんでもらえるように整備がすすめられています。ハイキングなどにどうぞおかけください。



5月18日関の沢公園で

緑でつつもう みんなの地球

大内沢で町植樹祭

町植樹祭は五月九日、下大内沢国有林地内で開かれました。合川営林署・町・森林組合等で共催しているもので、小中学校緑の少年団の代表や営農大学の中国研修生も招かれて、いっしょに杉の苗木を植えました。

小松敏郎合川営林署長が「合川町の国有林野の人工林率は九二％で全県一。町営林事業とあわせて県内一森林整備の進んでいる町です。」と前置きして、緑を大切にしようと呼びかけ。町長は「樹木を人間の仲間として、植えて育てよう」とあいさつしました。

今年の植樹祭のテーマは「緑でつつもう みんなの地球」です。



250人近い人たちが参加した町植樹祭

全国いっせいに“自然”の中へ

ウォークラリー大野台会場に200人

五月十九日、第八回全国一斉ウォークラリーが開かれ、大野台ハイランド会場にも約二百人の参加者が集いました。

ウォークラリーは、クイズなどを楽しみながら自然の中を歩く競技で、二つのコースが設けられて体力にあわせて、誰でも楽しめるように企画。仲良しグループや家族チームなど思い思いに、春の大野台のすばらしさを味わっていました。

ゲームの中には、重さを決めてそれにあったおむすびをにぎるコーナーなど笑顔がいっぱい。天気にも恵まれ快い汗を流していました。



チームワークで自然の魅力を満喫

手をつなぐ四つ葉でデイケア

通所訓練サービスを開始

町では本年度からデイケア（通所訓練）事業をスタートさせました。参加者から「毎週、木曜日が楽しみです」と喜ばれています。

デイケア事業は、介護の必要な体の不自由な人が対象。家にこもりがちで、介護者の負担が大きい人たちが、明るく生きがいを持って活動できるように始められたものです。

町保健センターに希望者を送迎してレクリエーション、集団訓練、個別訓練、入浴などの日程で、看護婦、保健婦、ヘルパーの専門職員に多くのボランティアが協力。福祉、保健、医療、ボランティアの関係者が一体となって「四つ葉の会」としてデイケアの運営にあたっています。

笑顔いっぱい 広がるふれ合い

現在、デイケア事業は毎週一回、木曜日に実施。五月九日のデイケアには、李岱地区



李岱の婦人の皆さんが手づくりの人形劇でデイケアに参加。
心も健康の笑顔がいっぱいー

の婦人らがボランティアとして訪れ、すばらしい人形劇を披露してくれました。

デイケアでの、訓練が人とのふれ合いが、心と体の健康づくりに役立っている。との参加者や家族からの声に、町では「できれば、毎日のサービスに持っていきたい」との方向で、検討しています。

デイケアについての問い合わせは、役場福祉課（☎七八二二一三）・保健センター（☎七

八二四二七二）
・診療所（☎七八三二六一）におよせください。

デイケアの手をつなぐ 四つ葉



町長日記から

四月末から五月上旬にかけて、寒い春が続いた。しかし季節は日暦（ひごよみ）のように確実に、新緑の候となり、田植が最盛期になった。

県内では仙北平野が意外に遅いと感じたが、それも数日ぐらいの差だけなのだろう。

つつじの花が満開で、今年の誕生の森植樹は、去年に引き続いて関の沢公園で

行われた。

ところで、関の沢公園のことであるが、現在はまだその緒（ちよ）についたばかりで、いずれ現在眼に見える範囲の少くとも十倍の構想であるから、関の沢公園は地元にとってなじみの地名ではあるが、あまり広がりやの無い語感であるから、もっとスケールの大きな名称がどうかと関係者に話している。

先日、私の当番の朝の会で、さらに広く公募するなど考えてみたらどうかと提案してみた。

（義）

なんとかしないよ

今にごみの世界になる

ごみ・広報クイズに応募三〇二通

チビッ子提言

前号の、こちら広報クイズだ? だ? のごみの量のクイズに三百二人の応募をいただきました。正解者は二百九十七人。そして、ごみについての意見やアイデアをいただきましたので、その中から紹介します。

ん落ちていっているのを毎日、見ます。どうして平気でゴミをすてるのでしょうか。あんまりごみを捨てると、ごみの世界になると思っています。

美栄 谷内山圭子さん

〔感想・意見〕

▽合川町からこんなにゴミが出るなんて信じられません。

道城 小林純子さん
駅前 斉藤 伸くん

▽学校の帰りに空缶がたさ

〔提案〕

▽燃やせるごみは家で燃やして処理しよう。

駅前 北林美緒子さん
〃 工藤裕美子さん他
▽発泡スチロールをなるべく作らないようにしてほしい。

〔アイデア〕

▽ごみでみみずを育てて、それで魚をつつて食べた。

駅前 佐々木稚紗さん
▽ほくが半分食べて処理した。
李岱 近藤典昭さん
▽ふうせんにごみを入れて宇宙へとばす。
木戸石 横谷大輔さん
▽にわとりが生ごみを食べた。

ごみを少なく
する方法を
家庭で考えよう

西根田 金田恵子さん

この他、ロボットが燃やす、食べる、科学力で土にするなどのアイデアが多数寄せられました。この中から、太字の六人に特別賞(図書券)を送ります。

正解者の中から抽選で次の二十人の方に記念品(北欧の杜公園大野台テレホンカード)を送ります。(以下敬称略)

下杉 晶山洋平 桜井友子

木村由紀子 駅前 久住司

吉田恵 工藤裕美子 斉藤恭介

斉藤伸 川井 松岡さつき

梅栄 後藤千秋 木戸石

藤島朋樹 羽根山 松岡由香里

梅田寛 李岱 近藤美弥子

東根田 桜田飛鳥 摩当 福岡愛子

三木田 三浦幸 三浦美紀子

鎌沢 加藤大和 杉山田 伊東清貴

賞品は六月上旬にお届けします。当たらなかった人ごめんなさい。またクイズのコーナーを計画していますのでお楽しみに。

ご遠慮ください

消防署への 問い合わせ

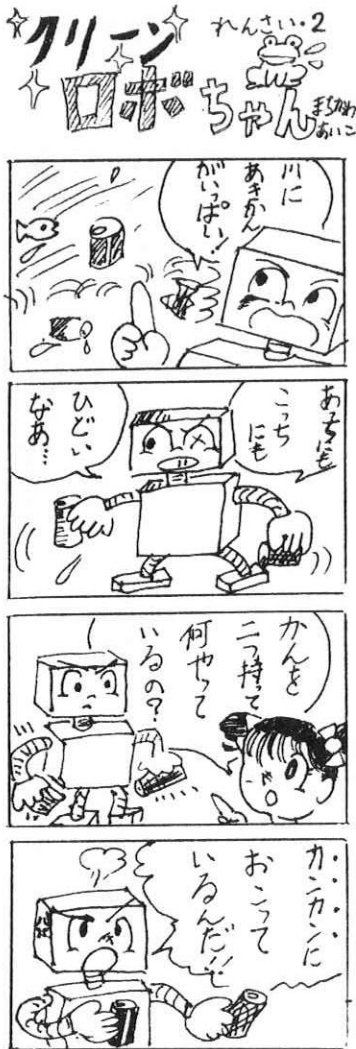
火災が発生すると、場所の問い合わせなどの電話が、消防署、役場にたくさんかかってきて、対応のため救急活動が遅れる場合があります。町内火災は広報無線でお知らせしますが、一般車が走り、救急活動のじやまになる場合もあります。緊急の活動が最優先ですので、協力ください。

暴力団員の露店 排除に協力を

阿仁部四町村・森吉警察署と各行事関係者が四月二十六日、会議を開き、暴力団員の露店の排除について決議を行いました。祭典などの露店の申し出があった場合、森吉警察署(☎七二一三二五)または町内各駐在所に相談ください。

犯罪被害はすぐ110番

◎犯罪現場は、そのまま保存するように心がけましょう。



児童手当

一人目の子どもから

平成四年一月一日から受けられます

子どもを健かに生み育てるための環境づくりの重要な柱として、児童手当制度が改正されます。

今回の改正では▽今まで二人目の子どもから支給されていた児童手当が一人目の子どもから支給されるようになります。▽支給額、支給期間が表のように改正されます。

	現 行	改 正 後
支 給 対 象	第2子以降	第1子以降
支 給 期 間	小学校入学前	3 歳 未 満
支 給 額		
第1子	—	5,000円(月額)
第2子	2,500円(月額)	5,000円(月額)
第3子以降	5,000円(月額)	10,000円(月額)

一人目の子どもについては平成三年一月二日以降に生まれた子どもから、新たに支給の対象になります。

なお、すでに手当を受けている家庭に配慮して段階的に次のように実施されます。

○平成四年一～十二月

二人目以降については、五歳未満の子どもが支給の対象になります。

○平成五年一～十二月

二人目以降については、四歳未満の子どもが支給の対象になります。

○平成六年一月以降

三歳未満のすべての子どもが、支給の対象になります。

また、今回の改正に伴い、新たに支給の対象となる一人目の子どもをおもちの家庭は、前もって今年の十一月から申請することが出来ます。

なお、受給資格があっても請求書の提出がない場合は受給できません。

詳しくは、役場福祉課におたずねください。

道路交通法改正

保管場所「章」を失くさないで

七月一日から新車・中古車を購入する際には、自動車に「保管場所標章」の表示が必要です。保管場所を変更する場合、届出が必要です。手続きは個人でもできますが、購入業者または森吉警察署(☎七二―三一―二五)におたずねください。

農 業 情 報

テレホンサービス

62-0029

1日～7日 水田初期害虫の防除
8日～14日 野菜の肥培管理
15日～21日 梅の加工
22日～28日 水稻の水管理

(鷹巣農業改良普及所)

こまります
不法電波

電波障害の相談は東北電気通信監理局(☎〇二二―二二一―〇六四二) 仙台市青葉本町三―二―二三へどうぞ。

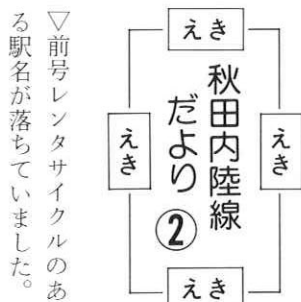
町づくりに役立つ

郵便局の簡易保険積立融資

皆さんが加入している郵便局の簡易保険や郵便年金の積立金は、公共施設等の建設資金として、還元融資され地域社会の発展と住民福祉の向上のため大きく役立っています。

当町でも平成2年度に合計1億3,220万円の融資を受けています。その内訳は次のとおりです。

消防施設整備事業	300万円
学童研修センター講堂建築事業	4,070万円
クロスカントリーコース整備事業	1,550万円
除雪機械整備事業	830万円
町道川井大野線	3,900万円
町道大野台東線	2,570万円



米内沢・阿仁合・阿仁マタギ駅の三駅にあります。▽ワンマン列車は、後ろドアから乗車し前ドアから下車してください。なるべく小銭を用意して、運賃は整理券とあわせて運賃箱へ。一両運転はほとんどワンマンですので協力ください。

ご協力ください 事業所統計調査

平成三年事業所統計調査は商業統計調査とあわせて、七月一日を基準日に行われます。

事業所（寺社、個人製造業、営業大工などを含む）、商店を調査員が訪問しますので、協力をお願いします。

これら調査は、国や町が商業振興などの計画をたてる場合など、いろいろな計画作成の資料となる大切なものです。統計の秘密は厳守され、目的以外に利用されることはありませんのでご理解ください。

自動車税の納期は7月1日です

県では、平成3年度自動車税の納税通知書を納税者の皆さんに送付しております。住所の異動等により納税通知書の届いていない方は、北秋田県税事務所（☎0186-49-2211）まで連絡ください。

建設業者 審査説明会

建設業法に定める経営事項審査を本年度希望される方について秋田県では次の日程で説明会を行います。国、県、町等に指名願いを提出する予定の方は、お確かめください。

日時 平成三年七月十五日（月） 北秋田管内 場所 鷹巣阿仁広域交流センター

平成三年度秋田県建設工事入札参加資格申請の説明会も同時に行います。

交通事故相談

秋田県北秋田福祉事務所内に交通事故相談員がおります。巡回相談もありますので、日程等を確認してご利用ください。（☎六二一一二七五）

工業統計 ポスター募集

毎年十二月末日現在で、工場、製造業者を対象にした工業統計調査が行われています。その統計調査を周知するため

のポスターを公募しています。用紙はA2版をたて長に利用。色制限などくわしくは、役場総務課におたずねください。応募締切は六月三十日

交通遺児奨学生 災害

交通遺児、災害遺児のために財団法人交通遺児育英会、災害遺児の高校進学をすすめる会があります。奨学金制度や奨学生同志の助け合い事業などが行われています。くわしくは各学校または東京都千代田区永田町一―一二八両会事務局にお問い合わせください。

秋田県職員 採用試験

試験名 上級試験、中級試験、初級試験、警察官A・B・婦人警察官、婦人補導員、交通巡視員。

募集職種、人員、試験日、科目、募集締切日等、くわしくは秋田県人事委員会事務局（☎〇一八八―六〇―三二五三） 秋田市山王四―一―二におたずねください。

国民年金係から

増額された年金を受けられます。

老齢基礎年金の 繰り上げ・繰り下げ請求

繰り上げ

年齢	60歳から	61歳から	62歳から	63歳から	64歳から
受給率	58%	65%	72%	80%	89%

繰り下げ

年齢	65歳から	66歳から	67歳から	68歳から	69歳から	70歳から
受給率	100%	112%	126%	143%	164%	188%

老齢基礎年金は、原則として六十五歳から受けられますが、希望すれば六十五歳になる前から受けられます。

ただし、下表の受給率で減額され、六十五歳になっても百%もありません。また、六十六歳から七十歳の間に繰り下げで受給することもあります。この場合は、

許可申請は 毎月30日まで

農地の転用（宅地や山林などに変更すること）や、所有権の移転（売買や贈与、また貸し借りをする場合）は、農地法の規定により農業委員会に関係書類を提出し、農業委員会や県知事の許可を得なければなりません。

農地法により許可申請は、毎月三十日に締め切り、翌月上旬に開く農業委員会にはかり処理しております。

農業委員会から

6月こよみ

平成3年4月末日 住民登録人口調べ

人口男 4,274人(−12) 転入51人

女 4,659(±0) 転出62人

計 8,933人(−12) 世帯数2,315(+13)

1 土 児童館自然観察	11 火 新田目 李岱	21 金 梅栄 摩当
2 日	12 水 木戸石 松ヶ丘	22 土 西根田 下杉
3 月 道城 上杉	13 木 駅前 川井	23 日 新田目 李岱
4 火 戦没者追悼式	14 金 鎌沢 三木田	24 月
5 水 杉山田 三里	15 土 東根田 美栄	25 火 はり、あんま施業 木戸石 奉仕28日まで 松ヶ丘
6 木 芹沢 羽根山	16 日	26 水 駅前 川井
7 金 八幡岱 増沢	17 月 道城 上杉	27 木 鎌沢 三木田
8 土 桃栄 摩当	18 火 雪田 三里	28 金
9 日 西根田 下杉	19 水 芹沢 羽根山	29 土 東根田 金沢
10 月	20 木 八幡岱 増沢	30 日

記入部落名は児童館厚生員の訪問地区です。

慶弔だより

(4月届・敬称略)

【お誕生おめでとうございます】

伊藤 瑞樹^{みづき} 久 夫^く 二男 杉山田
鉄 美^{てつ} 良 市^{りょう} 長男 摩 当
金田 直幸^{なおゆき} 優 子^{ゆう} 長女 摩 当
金田 理穂^{りほ} 浩 樹^{こう} 長女 摩 当
佐藤 友子^{ともこ} 一 博^{いち} 長女 川 井
成田 淑恵^{しゅえ} 克 範^{かつ} 二女 李 岱

【ご結婚いつまでもお幸せに】

(松 岡 良 寿 羽根山
近 藤 美保子 能代市)

【謹んでおくやみ申し上げます】

金田 ハル 西根田 重 春 母
工藤東之助 駅 前 稔 父
山岡 タケ 雪 田 修 一 母
工藤 弥七 上 杉 チ ヨ 夫
疋田 節子 上 杉 経 夫 長女
斎藤 千代 駅 前

慶弔だよりに載せてはしく
ない内容がありましたら届
出のときにでも、お知らせ
ください。

善意のご寄付

(敬称略)

【香典返しにかえて】

小笠原久二 増 沢 故父徳治
後藤 良光 下 杉 故母フヨ
工藤 稔 駅 前 故父東之助
金田 重春 西根田 故母ハル
疋田 経夫 上 杉 故長女節子
山岡 修一 雪 田 故母タケ
工藤 幸満 上 杉 故父弥七
佐藤 三弘 木戸石 故祖父安三
高橋 捷春 八幡岱 故妻正子
佐藤久五郎 金 沢 故妻キワ
桜田 良一 東根田 故母トミエ

【一般寄付】

正法院 御詠歌講

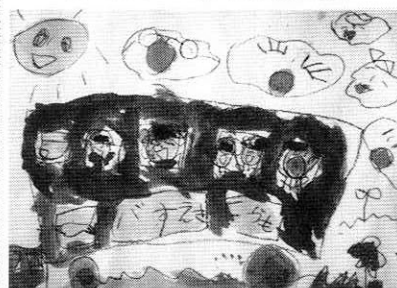
【広報郵送料として】

成田貞男 東京都多摩市永山3-1
-11-306
安部キヨ 神奈川県川崎市川崎区殿
町1-2-6
三浦俊二 静岡県藤枝市駿河台3-
14-5

【物品寄贈】

ぞうきん＝上杉長寿会
川井老人クラブ

チビツ子美術館



ハイランドえんそく



ひがしほいくえん
(つきぐみ)

さとう こずえちゃん

水の事故が心配される
季節です

幼児から目を離さないで

議会から (訂正)

5月15日発行・議会広報の
国民健康保険税条例助産費は
20万円(誤16万円)ですので
訂正します。